

何時でも何処でも「スマホ&パソコン」学習

1. スマホ&パソコン学習の勧め

建築業界は、本当に忙しい。

その中で、合格率20%未満の1級建築士(学科)に合格するには、学習法を「工夫」しなければならない。

通常学習、例えば一般書籍による過去問や項目別要点をひたすら学習する等では、受験者10人の中の2人に入れない。

合格者2人になるためには、万人に平等である「時間」を、自らの意思で少しでも1級建築士の学習に割り振る必要がある。

そのため研究会は、あらゆる時間を活用して、あらゆる場所で学習するために、「スマホ&パソコン」でHPを見れるようにした。

※1級建築士は、受験すると決意した瞬間から、持ちうる全ての時間をかけて学習しないと合格できない。

(1) スマホ学習の勧め

・スマホ学習は、何時でも何処でもスマホによりHP学習することである。

・その学習例は、以下の通り。

- ① 通勤中の電車内でスマホ学習(通勤電車時間が30分なら往復で毎日1時間の学習)
- ② 待ち合わせ時間にスマホ学習(集合時間に少し早く着いた場合、その時間を活用して学習)
- ② トイレの中でもスマホ学習(午前1回15分、午後1回15分、毎日必ずトイレに籠ってスマホ学習)

(2) パソコン学習の勧め

・パソコン学習とは、自宅や会社のパソコンによりHP学習をすることである。

・その学習例は、以下の通り。

- ① 自宅のパソコンで土日祭日にHPパソコン学習(休日は朝起きてから食事トイレ以外をHP学習可)
- ② 会社のパソコンで昼休みにHPパソコン学習(昼食を30分で終了し、残り30分を毎日学習可)
- ③ 会社のパソコンで勤務時間中にHPを立ち上げて、勤務中に建築一般知識の調査としてHPを活用(業務&学習)

(3) 「30分サイクル学習法」の勧め

・スマホ&パソコンのHP学習は、HPトップ頁にある記憶力を飛躍的に高める「30分サイクル学習法」を実践するのに最適である。

・一例を示すと、以下の通り(詳細は「30分サイクル学習法」参照)。

- ① 食事の前後どちらかで30分サイクル学習法(1日3回あるので、これで毎日1.5時間の学習時間)
- ② 帰宅時の電車に乗る前に、プラットフォームのベンチで30分サイクル学習法
- ③ 帰宅時に自宅駅の近くの喫茶店に必ず寄って30分サイクル学習法

※学習時間は自分で作るもの、上記を習慣化すると毎日2.5時間の学習時間となる(場所を変えると無理なく集中できる)。